

報道関係各位

JR博多シティ 2016年度 概況報告

5年連続最高売上高の更新と

過去最高入館者数を記録！

JR博多シティの2016年度の営業業績ならびに営業概況をご報告いたします。

1. 売上高

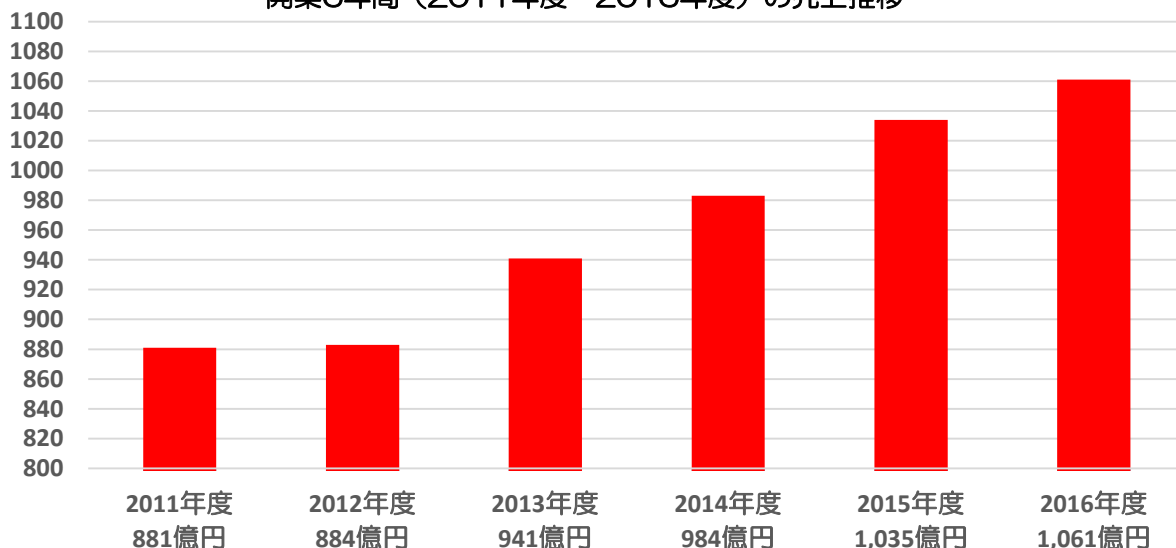
KITTE博多・博多マルイを迎え、商業集積が充実した博多駅エリアで、既存施設計でも前年売上高を超える営業実績を記録しました。さらに昨年4月末に開業したJRJP博多ビルも予想を上回る売上を記録し、好調でした。

JR博多シティ **売上高：1061億円**（前年比 約102.5%）

※①+②+③+④
※既存6施設合計 **売上高：1037億円**（前年比 約100.2%）

※アミュプラザ博多・アミュエスト・博多デイトス・デイトスアネックス・コンコース・博多阪急 ※①+②+④

開業6年間（2011年度～2016年度）の売上推移



<施設内訳>

①アミュプラザ博多

売上高：389億円（前年比 101.7%）

【概況】

JR博多駅前広場、JR九州ホールを活用した集客イベントやKITTE博多・博多マルイ開業に伴う博多駅エリア集客力向上が追い風となり、開業以来5年連続最高売上高を更新。ハウスカード「JQカード」を中心とした顧客施策が奏功した物販（衣料品、雑貨）や、ヒット作に恵まれた映画館が売上を牽引。インバウンドも引き続き好調（免税売上前年比100.1%）。3月リニューアル店舗計18店舗は前年区画比116%と好調にスタート。織研新聞社ディベロッパ大賞 敢闘賞を6年連続受賞。

<施設内訳>

②アミュエスト・博多デイトス
デイトスアネックス・コンコース 売上高：204億円（前年比 95.1%）

【概況】

アミュエスト（前年対比96.7%）・博多デイトス（前年対比92.9%）・デイトスアネックス（前年対比95.8%）・コンコース（前年対比96.1%）は、熊本地震による一時的な観光客減、KITTE開業の影響等で前年割れ。アミュエスト3周年に伴う2、3月リニューアル店舗15店舗は前年区画比119%と好調にスタート。デイトスの飲食フロアでは、8年ぶりに10店舗のリニューアルを実施（4月オープン）

③JRJP博多ビル 売上高：24億円（計画比 約132.0%）

※2016年4月27日（水）～2017年3月31日（金）実績

【概況】

開業以来、飲食店は予算計画比2ケタ増と好調な数値。駅から三百歩横丁は、夜になると平日は周辺のビジネスパーソン、休日は観光客で賑わいを見せており連日満席で、年間通じて堅調な売上を記録。1F、2F店舗については、開業時の大きなメディア露出による新規客獲得と、営業日数の経過とともに周辺エリアの顧客を順調に獲得し売上好調。

④博多阪急 売上高：444億円（前年比 約101.3%）

2. 入館者数

アミュプラザ博多・博多阪急・アミュエスト・博多デイトスの4施設合計の年間入館者数が開業以来初の7000万人を突破いたしました。

入館者数計：約7055万人（前年比 約104.5%）

※デイトスアネックス・コンコース・JRJP博多ビルを除く

<施設内訳>

- ・アミュプラザ博多・博多阪急 **約5147万人（前年比 106.1%）**
1日平均入館者数：約14万人（平日約12万人 土日祝約19万人）
- ・アミュエスト・博多デイトス **約1908万人（前年比 101.7%）**
1日平均入館者数：約5万人（平日約5万人 土日祝約5万人）

【概況】

KITTE博多・博多マルイ開業による相乗効果、インバウンド効果に加え、年間を通して、JR博多駅前広場やJR九州ホールを活用した集客イベントの実施と話題性ある広告展開が奏功。また、博多駅エリア全体の集客力向上を目指し、夏のバーゲンや初売りの一斉スタートなど、周辺商業施設との合同企画を実施。メディアでも大きく取り上げられ集客に寄与。



HOOTERS in JR博多シティ

「五郎丸 歩」さんの起用

「ベッキー」さんの起用

博多駅周辺施設合同初売り告知